



大会名

令和3年度 第45回全国高等学校ハンドボール選抜大会

開催日

2022年3月24日(木)

試合開始予定時間

11:45

試合番号

女2

 一般
 学生
 高専
 高校生
 中学生
 小学生
 その他

 国際大会
 全国大会
 フロック大会
 都道府県大会
 その他
 男子
 女子

Japan Handball Association

公式記録用紙

(試合レポート)

チーム A							チーム B																
A 島根県立松江南高等学校							B 栃木県立栃木商業高等学校																
開催地			会場				開催日			時間		回戦		試合番号									
愛知県豊田市			スカイホール豊田メインホールCコート				2022年3月24日(木)			11:45		1回戦		女2									
前半		A	B	後半		A	B	第1延長		A	B	第2延長		A	B	7mスロー コンテスト		A	B	最終結果		A	B
		7	18			10	16															17	34
7mT 得点/総数		A		チームタイムアウト			選手・役員のフルネーム						チームタイムアウト			B		7mT 得点/総数					
2/3				1	2 後	3							1	2	3	3/3							
				16:59	14:42	26:20																	
No.	Team A					G	YC	2'	RC	BC	No.	Team B					G	YC	2'	RC	BC		
1	部田 萌乃花										1	今川 美鈴											
2	片石 乃恵花					1					○ 2	小林 流瑠					1						
3	古田 咲希										3	七五三掛 佑依					9						
4	吉田 実樹					3					4	郷 聖奈					2						
5	木村 友南					7					5	原田 千波					3						
6	米原 伽音					1					6	江連 小雪							1				
○ 7	松本 璃胡					1		1			7	播岡 沙英					9		1				
8	加藤 咲羽					2		2			8	久我 友来					10		1				
9	吉野 麻理亜					2					9	島田 凜子											
10	永原 円										12	小林 礼実											
11	真苺 優咲里																						
12	安田 千紗																						
13	足立 恵理																						
14	金折 泉美																						
16	大石 華子																						
18	足立 ひなた																						

役員A	山根 貴志					役員A	永塚 梓				
役員B	山内 竜夫					役員B	菊池 麻美				
役員C	山根 柚巴					役員C	二神 沙知子				
役員D	村上 綾梨					役員D					

A	チーム役員 A 署名										B
特記事項											

Ref	署名					署名				
	岡 裕之					井上 毅彦				
TD	署名					署名				
	坪井 雅典					上田 知和				
MO	署名					署名				

Note: goals (G), yellow cards (YC), red cards (RC), red card after 3rd 2' suspension (X), direct red card (D) and blue cards (BC).

レポート作成日: 2022年3月24日 14:06



Japan Handball Association

令和3年度 第45回全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

女2

戦評

開催地	愛知県豊田市		
会場	スカイホール豊田メインホールCコート		
開催日	2022年3月24日(木)	11:45	種別 高校生 女子
回戦	1回戦		

チーム名	島根県立松江南高等学校
------	-------------

チーム名	栃木県立栃木商業高等学校
------	--------------

17	前半	7	18	34
	後半	10	16	
	延1			
	延2			
	7mTC			

前半	<p>栃木商業のスローオフで始まった前半は、松江南が5番原田のロングシュートで先制。栃木商業も7番播岡のステップシュートですかさず得点。栃木商業は、開始早々退場者が続き、2分過ぎから5分間、数的不利の時間が続くが、積極的な牽制やアタックDFでピンチを凌ぐ。一方、松江南はドリブルを多用し、スペースを狙うが得点に苦勞する時間が続く。栃木商業は、多彩なパスワークからBPの3人が伸びやかにプレーし、加えて4-2の立体DFが機能し速攻でも得点を量産。松江南もクロス攻撃で栃木商業のDFを崩そうとするが、リズムに乗れないまま18対7で前半が終了した。</p>
後半 (試合終了まで)	<p>後半は、栃木商業のDFに慣れ始めた松江南がPTや9番吉野のロング、5番原田のロングなどで得点を挙げ、10分過ぎまで一進一退の攻防を展開し善戦するが、14分過ぎにタイムアウトを取った矢先に退場者が続いてしまい、その隙に栃木商業が勢いを盛り返す。栃木商業は後半に入っても、スピード感溢れる攻撃や足が動き続けたDFからの速攻が止まらず、34-17と危なげなく勝利を収めた。栃木商業の少数精鋭のメンバーが躍動感が際立つ試合であった。</p>

記者氏名 林 律子

作成日：2022年3月24日 14:06